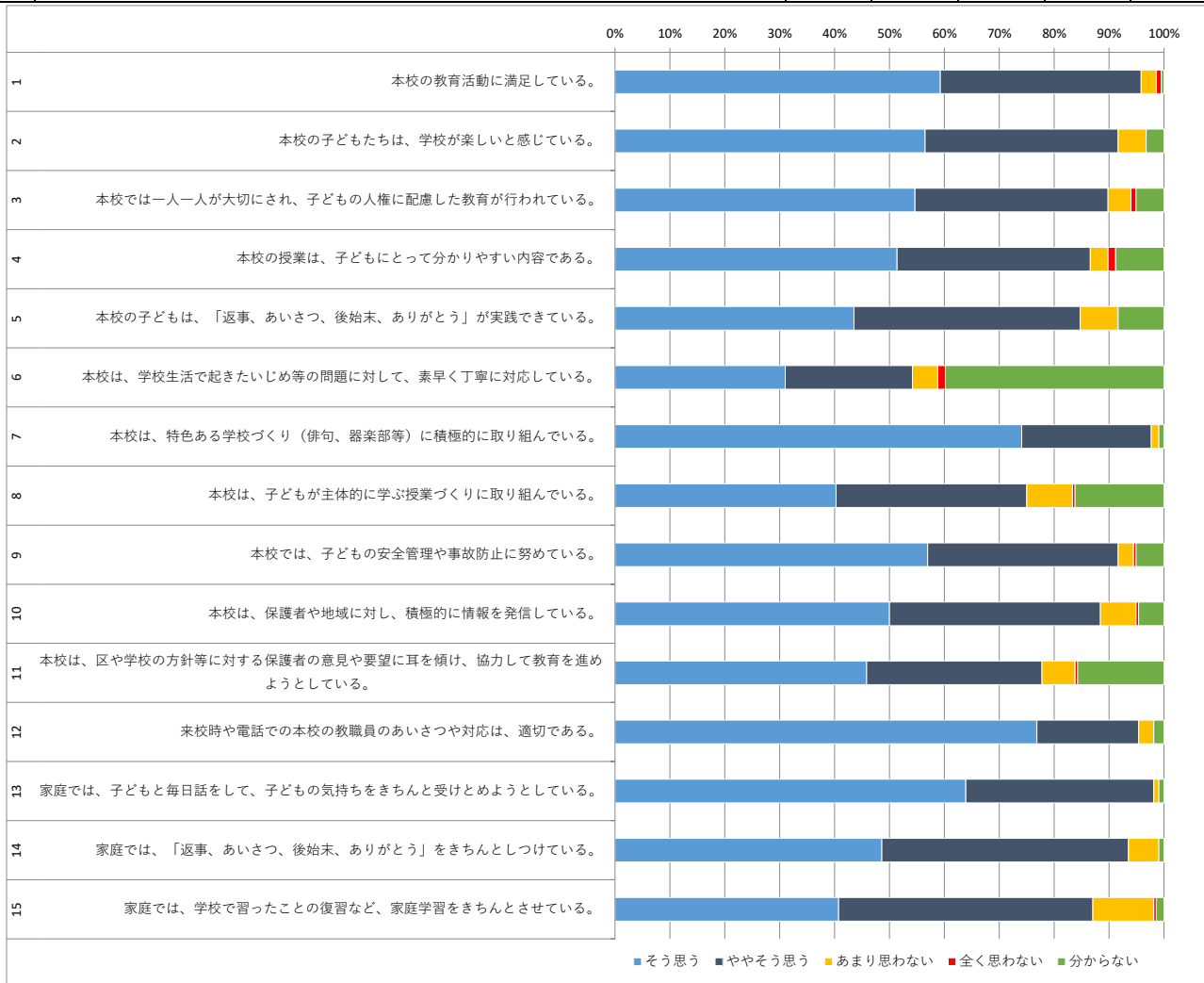


令和六年度学校評価（保護者） 配布数(家庭数) 291 回収数216 回収率74%

NO	質問項目	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	分からない
1	本校の教育活動に満足している。	128	79	6	2	1
2	本校の子どもたちは、学校が楽しいと感じている。	122	76	11	0	7
3	本校では一人一人が大切にされ、子どもの人権に配慮した教育が行われている。	118	76	9	2	11
4	本校の授業は、子どもにとって分かりやすい内容である。	111	76	7	3	19
5	本校の子どもは、「返事、あいさつ、後始末、ありがとう」が実践できている。	94	89	15	0	18
6	本校は、学校生活で起きたいじめ等の問題に対して、素早く丁寧に対応している。	67	50	10	3	86
7	本校は、特色ある学校づくり（俳句、器楽部等）に積極的に取り組んでいる。	160	51	3	0	2
8	本校は、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組んでいる。	87	75	18	1	35
9	本校では、子どもの安全管理や事故防止に努めている。	123	75	6	1	11
10	本校は、保護者や地域に対し、積極的に情報を発信している。	108	83	14	1	10
11	本校は、区や学校の方針等に対する保護者の意見や要望に耳を傾け、協力して教育を進めようとしている。	99	69	13	1	34
12	来校時や電話での本校の教職員のあいさつや対応は、適切である。	166	40	6	0	4
13	家庭では、子どもと毎日話をして、子どもの気持ちをきちんと受けとめようとしている。	138	74	2	0	2
14	家庭では、「返事、あいさつ、後始末、ありがとう」をきちんとしつけている。	105	97	12	0	2
15	家庭では、学校で習ったことの復習など、家庭学習をきちんとさせている。	88	100	24	1	3



【データの分析】

・ほとんどの項目で引き続き肯定的な意見の割合が大きい。これは、児童の学校評価の結果からも学校の取り組みに一定の理解が得られているとともに、取り組んでいる内容も家庭に伝わっていることが分かる。引き続き、家庭の協力を得ながら指導を進める。

・「5」について、昨年よりも肯定的な意見が増加した。児童が主体となって取り組んだ「あいさつ運動」の実践が生きている。

・「6」について、問題への対応は人権的配慮もあり、ケースごとに個別対応をしているので、「分からない」の回答は多い。個別のご意見をいただいているので、今後も学校生活における様々な問題に組織的に対応できる環境作りと実践を積み重ねていきたい。

・「1」「7」については、95%以上の保護者から肯定的な回答を得ている。これまでの児童を主体とする授業研究や器楽部や俳句での取り組み成果を今後の実践でも活用しながら教育活動を推進していく。俳句については、教員の指導力を高めていく。